

# 水生生物生息マップ(一部の生物を抜粋)

## 川でよく捕れる水生生物

### オイカワ

全ての調査場所で確認された唯一無二の魚類。産卵期のオスは写真のように色鮮やかになり美しい。明るく開けた場所を好む。



### ヨシノボリの仲間

川で見られるハゼの仲間で、1種類かと思いきや何種類かいるようだ。石の下などの隙間を好む。



## 回遊性の水生生物

成長や産卵のために、一定の周期で移動する魚類等の生きもののこと。川では特に遡上・降下として見られる。

### アユ

身近な回遊魚の代表格。調査の結果、逢妻女川は郡界橋の下流、逢妻男川は通学橋までアユの生息が確認された。



### ニホンウナギ

遙か遠くの海からやってきた、垂涎ものの回遊魚。カニやエビが好きらしいので、この川で大きく育ち、故郷の海へと帰っていってほしいものである。



### モクズガニ

グルメな人にはおなじみの上海蟹の仲間。ハサミの力が強烈なので、持つ時にはくれぐれも注意しましょう。



### テナガエビ

川エビの唐揚げでお馴染みのエビ。場所にもよるが、けっこうたくさん捕れる。小さくて透明な方はスジエビだが、おそらく外来種。



### マハゼ

言わずと知れた海の魚だが、ときどき川に入ってくる。でも回遊魚とは言わない。調査では逢妻女川の竹橋まで確認された。



### 生息調査地点

● 確認

○ 未確認



豊田市アカミミガメ防除プロジェクト実行委員会

# 地域のみんなで身近な自然を育むために 生きもの地域活動マップ2019

「豊田市アカミミガメ防除プロジェクト」では2016～2018年度にかけて、外来生物(ミシシッピアカミミガメ)対策に向けて、身近な自然環境を保全するための防除モデル構築に取り組んできました。その成果として、民・産・学・官が連携して行った防除の手法や体制などを環境省へ提言し、豊田市版のアカミミガメ防除マニュアルとしてとりまとめました。

2019年度からは、防除マニュアルに基づいて地域での防除活動や啓発活動の支援を行っているほか、アカミミガメだけでなく逢妻女川と逢妻男川の複数地点で水生生物調査を行っています。

この冊子では、外来生物の防除をきっかけにして、身近な川の現状に気付いてもらい、自分たちの手で地域の自然を守り伝えることができる人材が育成されることを目指して、2019年度に行った活動を紹介します。



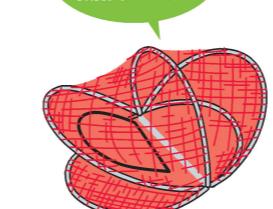
## アカミミガメ防除の実施

- 継続調査 逢妻女川・逢妻男川／計2か所
- わな貸出 河川やため池／計4か所



ミシシッピアカミミガメ

かごワナで  
捕獲します



## 水生生物調査の実施

- 逢妻女川・逢妻男川／計8か所

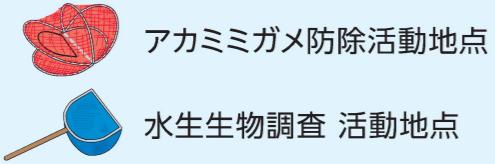


# 生きもの地域活動マップ2019

2019年度に実施された生き物調査と地域活動を地図にしました。逢妻女川、逢妻男川、猿渡川の3本の川で、活動が広がってきています。

皆さんの力で河川の環境が守られるよう、この地図いっぱいに活動を広げていきましょう!

## 2019年度の活動地点



### 豊田市アカミミガメ防除プロジェクト実行委員会構成員

<b>民</b>	初音川ビオトープ愛護会 逢妻女川を考える会	<b>産</b>	トヨタ自動車株式会社堤工場 トヨタ車体株式会社吉原工場
<b>学</b>	愛知学泉大学 矢部隆(会長) 日本カメ自然誌研究会 田村ユカ	<b>官</b>	豊田市矢作川研究所 事務局 豊田市環境政策課



## ①布袋子川合流部(逢妻女川)



### トヨタ自動車(株)貞宝工場

逢妻女川と布袋子川の合流部の調査を貞宝工場に協力してもらいました。また、貞宝工場では豊田西高校、地域の専門家らと連携した自然共生活動(水辺と緑のMORIBITOプロジェクト)に熱心に取り組んでいます。広域一斉防除の際に川で捕獲し再放流したイシガメが今年度になり工場の調整池で確認され、カメの専門家である矢部教授(愛知学泉大学)を驚かせた。

## ②ながれ橋付近(逢妻女川)

### 逢妻女川を考える会

アカミミガメ防除効果のモニタリング調査を実施した。市内のアカミミガメ防除のパイオニアで、長年の防除により他地点と比べてアカミミガメの割合が低く維持されている。普段からも逢妻女川沿いの草刈り・清掃活動や交流館環境講座の支援など、逢妻女川の環境保全活動に精力的に取り組んでいる。



## ③阿知和池



### 西岡環境保全会

アカミミガメ防除も3年目を迎え、2019年は地域行事“阿知和池のつどい”の中でアカミミガメ防除を行うと同時に啓発用にもんじりで魚を捕獲した。過去2回は保全会のメンバーだけでの作業だったが、今回は防除作業の様子や普段は間近で見られない池に住むカメや魚を見てもらうことで、子どもたちをはじめ地域の人々に关心を寄せてもらった。

## ④初音川ビオトープ付近(逢妻男川)

### 初音川ビオトープ愛護会 トヨタ自動車(株)堤工場

アカミミガメ防除効果のモニタリング調査を実施した。アカミミガメ防除以外にも愛護会の活動に堤工場のボランティアが参加しており、地域連携が深まっている。初音川ビオトープはイシガメの越冬場所となる一方で、アカミミガメの産卵場所にもなっているのではないかと注視している。



## ⑤伊勢湾岸道高架下(逢妻男川)



### 若園地区コミュニティ会議 環境安全部会 トヨタ車体(株)吉原工場

普段から行われている地域連携がさらに進み、2019年は逢妻男川の自然観察会を初めて一緒に開催した。地域在住親子と従業員親子が大勢参加し、カメ類も含めた逢妻男川の自然を体験した。また、こうした取り組みを、交流館のふれあいまつりや会社のイベント等でお互いに積極的に発信、啓発している。

## ⑥上郷工場排水処理場周辺(猿渡川)

### 上郷・大成・西田・和会・永覚地区 豊田工業高校 トヨタ自動車(株)上郷工場

“自然と共生する工場”について、2019年の地域連携ワークショップで検討する中で、試行的に猿渡川のクリーン活動とアカミミガメ防除を行った。自転車や家電など大型のゴミやアカミミガメの多さに驚く一方で、イシガメの姿も確認され、工場周辺の環境への思いを新たにする機会となった。

